



## 「言葉の力」を中核とした学校づくり⑧

### 「組織」を生かす

◆ 学校経営計画を着実に実施し、校長が描く目指す学校像を実現するためには、管理職のリーダーシップの下、所属職員の協働体制を確立することが重要です。

◆ 体制づくりに必要なのは、目標への意思の統合とコミュニケーションの活性化です。

◆ 管理職は、目標と目標達成のための職務分担を示します。それを受けて分掌主任は目標達成に向けた分掌内の職務分担、進行管理、指導・助言を行います。その際、管理職相互、管理職と分掌主任、分掌内のコミュニケーションを活性化させることが、協働体制の確立につながります。

◆ 本市では、令和4年度から「重点項目整理表」と「課題別カード」をコミュニケーションツールとして用いた取組を進めています。

分掌組織が学校経営計画の実現に向けて取り組む中、担当教師は、その達成に向けて貢献し得る自らの目標を自己申告で設定することにより、自己有用感が増し、職務遂行意欲が高まります。また、組織の要請と個人の欲求の統合が図られ、組織と個人を両立させる経営が実現します。



### 心の平穏

大リーガー 大谷翔平

寝るときに、「今日の練習は良かったな、やりきった1日だったな」と思って目をつぶれるかどうか。そこが心の平穏を保っている一番の要因だと思いますし、今の僕にとってはそれが何よりも幸せなことなんです。

出典：「大谷翔平は、こう考える」（桑原晃弥著 PHP文庫）

※ これは第5回WBCの直前、記者の「ささやかな幸せを感じる瞬間は」との質問に対する大谷選手の回答です。